

第5章
活力あふれる交流と賑わいの
まちづくり

施策

1

活力ある 農業の振興を図る



前期基本計画の取組

- 農業の収益力向上と担い手農家の育成支援を目標に、市アグリビジネス*戦略を策定しました。
- 認定農業者や農業後継者、新規就農者に対する支援を行い、経営規模の拡大や市場評価の高い作物の生産拡大及び開発に努めました。
- 農業生産者の安定収入を確保するため、農産物直売所の利活用や学校給食への地元野菜の利用拡大を図るとともに、6次産業化*や多様な事業者との連携による産品開発など農産物の地域ブランド化に取り組みました。
- 優れた農畜産物や加工品などを実需者*や消費者にプロモーションを展開するとともに、販売戦略を構築して販売拡大を図る「食と農のマッチングフェア」や「いい那珂マルシェ*」を開催し、新たな販路を開拓しました。
- 安全・安心な食料を供給するために、県やJAと連携して栽培技術の指導及び普及を行いました。
- 農業後継者や新規就農希望者の円滑な就農を図るため、担い手農家との協働による組織を設置し、包括的な支援体制の構築に取り組みました。
- 地域おこし協力隊*による情報発信や農業体験ツアーの開催、農業高校や調理専門学校と連携した産品開発など農業関係人口づくりに取り組みました。
- 農地の有効活用に向け、農地中間管理事業を通じた担い手農家への集約化や、農業委員と農地利用最適化推進委員による農地パトロールなどの活動を進めました。
- 農業水利施設と農地の保全を図るため、農地法面の草刈りや水路の泥上げなど、地域で行う共同活動を支援しました。
- 農業生産性の向上を図るため、かんがい排水やため池などの農業水利施設の補修や整備を行いました。

現状

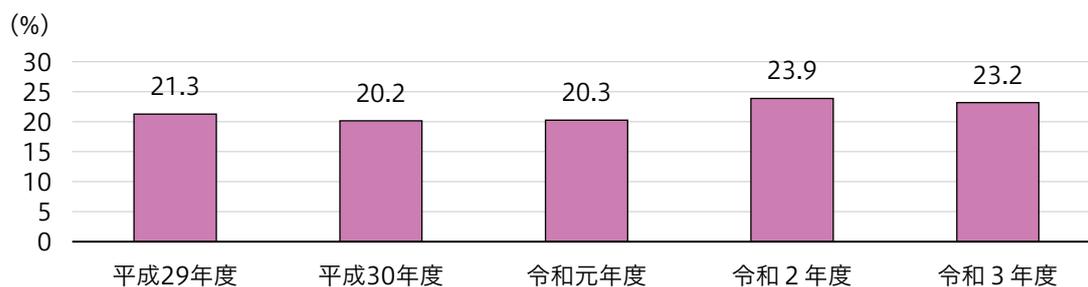
- 本市是那珂川と久慈川に挟まれた平坦で肥沃な土地に恵まれており、農業は基幹産業となっています。
- 農家戸数は、農業従事者の高齢化や後継者不足により減少傾向にあります。
- 地域農業の中心的担い手である認定農業者数は、横ばいの傾向にあります。
- 安全・安心で質の高い農畜産物の生産や多様な事業者との連携を通して、販売戦略の構築や新たな食の流通などアグリビジネスに資する取組を積極的に進めています。
- 担い手農家の育成や農地の集約化と経営規模拡大を図るため、新規就農希望者や認定農業者への支援を行っています。
- 主食用米の消費量は、人口減少や消費者の嗜好^{しこう}変化により、減少しており、価格も安値傾向にあります。

- 農地面積は、宅地への転用などにより減少しています。遊休農地などの面積は、市農業委員会との連携や農地中間管理事業により横ばいの傾向にあります。
- 農地の集積及び集約を図るため、基盤整備を推進しています。

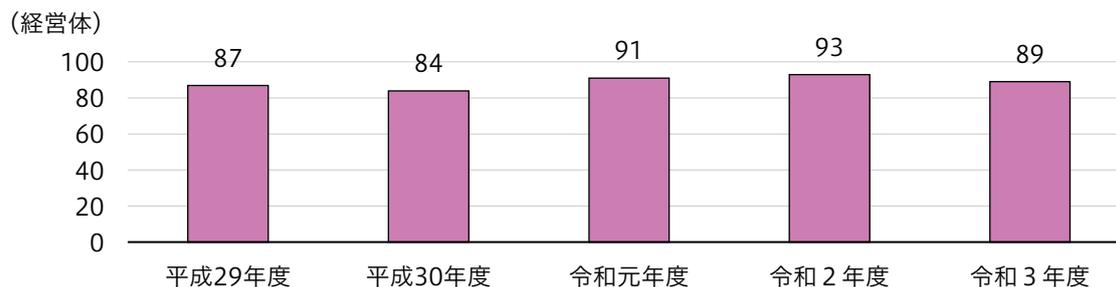
課題

- 6次産業化*と地域ブランドの創出の取組を通じて、販路拡大を進める必要があります。
- 消費者が安心できる農作物を需要に応じて安定的に供給できる体制を整える必要があります。
- 農作物被害を防ぐため、病虫害や有害鳥獣対策を継続する必要があります。
- 主食用米の価格安定のため、生産効率化や高収益作物への転換を図る必要があります。
- 持続可能な農地利用及び営農を実現するため、農地と営農する人の問題に地域と一体的に取り組む必要があります。
- 地域の担い手農家と協働し、新規就農者の定着や認定農業者の規模拡大を支援する必要があります。
- 農地の有効活用を図るため、市農業委員会との連携や農地中間管理事業による集約化を進める必要があります。
- 離農などにより農地の保全管理が困難とならないよう、地域による共同活動の継続支援やリーダーを育成する必要があります。

担い手農家への農地集積率



認定農業者数



いい那珂そだちマッチングフェア



人・農地プラン地域座談会

施策の目的と成果指標

対象 農家

意図 生産意欲を持って農業に従事する

成果指標	現状値 (令和3年度)	中間目標値 (令和7年度)	目標値 (令和9年度)
担い手農家への農地集積率	23.2%	28.0%	30.0%
認定農業者数	89経営体	100経営体	105経営体

基本事業と方針、主な現事務事業

基本事業1 農業の収益力向上

方針

- 農畜産業者で組織するアグリビジネス*ネットワーク組織への支援を通して、農業の収益力向上と地域農業の活性化を図ります。
- セミナーや実技講習を実施し、市産農畜産物の品質向上に努めます。
- 農業生産者や事業所、学校と連携して、かぼちゃなどを活用した地域ブランド商品の開発や、農業の6次産業化*、一次加工を進め、付加価値の向上を図ります。
- 「いい那珂そだち*」のロゴマークを活用し、市産農畜産物のブランド化を進めます。
- 農産物直売所と連携したイベント開催や学校給食への地元野菜の利用拡大を図り、地産地消を進めます。
- 金融機関や事業所と連携したマッチングイベントを開催し、実需者*への販路拡大につながる地産外商に取り組みます。
- 生産性及び収益性の向上につながるIoT*を活用したスマート農業*への取組やICT*を活用した農産物の販路拡大について、先進事例を調査し、農畜産業者への情報提供に努めます。

主な現事務事業

- ・園芸振興支援事業
- ・農業活動拠点施設管理事業
- **那珂ビジョン(投資)**
- ・アグリビジネス戦略推進事業



基本事業2 安全な食料の安定供給

方針

- 農作物の安定供給や農業の発展を図るため、環境負荷低減に配慮した持続的な農業に対する取組への支援に努めます。
- 安全・安心な食料を安定的に届けられるように、需要に応じた野菜栽培を振興するとともに、県やJAと連携して農業栽培技術の指導及び普及を図ります。

主な現事務事業

- ・経営所得安定対策奨励補助事業
- ・農産物原子力被害対策事業
- ・農産物被害防除事業

- 経営所得安定対策を推進し、水稻生産農家の経営安定に努めることで、食料の安定供給を図ります。
- 放射性物質の検査を継続し、安全・安心な農作物の提供に努めます。
- 関係団体との連携により、病害虫及び有害鳥獣からの農作物被害の軽減を図ります。
- 畜産農家に対し、伝染病の予防に関する啓発や情報提供を行います。

基本事業3 農地の有効活用と担い手農家による農業の展開

方針

- 持続可能な農業を実現するため、人・農地プラン*を地域と一体となって作成に取り組みます。
- 遊休農地については、パトロールによる調査及び指導により解消に努めます。
- 担い手農家への農地集積、経営規模拡大及び遊休農地の解消を図るため、農地中間管理事業による農地流動化を促進します。
- 農地の集積及び集約に伴う大規模経営化対策として、機械設備の購入に対する補助を行います。
- 市農業担い手確保・育成協議会MIRAIとの協働により、新規就農者の確保や育成を図ります。
- 地域おこし協力隊*による情報発信や農業体験ツアーの開催、教育機関との連携により、農業関係人口づくりを進めます。

主な現事務事業

- ・人・農地プラン推進事業
- ・遊休農地対策事業
- ・担い手育成支援事業
- ・農地中間管理事業
- 那珂ビジョン(投資)
- ・新規就農協力隊推進事業

基本事業4 生産基盤の整備と保全

方針

- 農業生産性の向上を図り、農業構造改革に対応するため、ほ場の再整備や国営事業に関連する農業水利施設の整備を進めます。
- 既存の農業水利施設の長寿命化を図り、ライフサイクルコスト*の低減に努めます。
- 地域資源でもある農地の基礎的保全活動を支援する多面的機能支払交付金を活用し、農地の保全を図りながら、地域のリーダーの育成を進めます。

主な現事務事業

- ・土地改良推進事業
- ・土地改良基盤整備事業
- ・那珂川沿岸農業水利事業

関連する市の計画

人・農地プラン(毎年更新)

市鳥獣被害防止計画(令和5年度～令和7年度)

アグリビジネス戦略(令和3年度～令和7年度)

施策 2

地域に活力をもたらす 商工業の振興を図る



前期基本計画の取組

- 新型コロナウイルス感染症の影響のある事業者に対し、市の独自支援を行いました。
- 創業支援やサテライトオフィス*の機能を備えた複合施設「いい那珂オフィス」を整備しました。
- 企業支援コーディネーター*による「よろず相談窓口」を設置し、市内事業者への伴走型の支援を行いました。
- 市商工会と連携するとともに「いい那珂オフィス」を活用し、創業者の支援に努めました。
- 市内外の各種イベントなどにおいて、市特産品ブランド認証品のPR及び販売に努めました。
- 複合型交流拠点施設「道の駅」の整備に向けて基本構想及び基本計画を策定しました。
- 就業の機会を増やすため、いばらき就職・生活総合支援センターやハローワークなどの関係機関と連携し、就職情報の提供や相談会を開催しました。

現状

- 新型コロナウイルス感染症の影響のある市内事業者へ支援を適宜実施しています。
- 令和3年度の特産品ブランドについては、33品目の商品が認証を受けています。
- 複合型交流拠点施設「道の駅」の整備を推進しています。
- 那珂西部工業団地や向山工業専用地域を中心に製造業などの工場が立地していますが、那珂西部工業団地に分譲地が5ha残るなど、地区内にまだ立地していない箇所があります。
- 常磐自動車道沿線を横断するガスパイプラインについては、向山工業専用地域西地区を中心に、ガス供給を活用することができます。
- 電源立地地域ならではの優遇制度を活用した植物工場などの進出を支援しています。

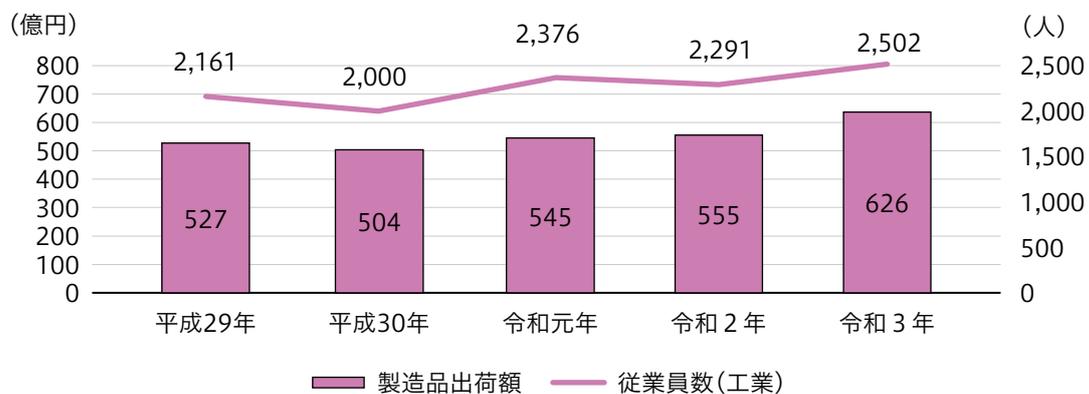
課題

- 新型コロナウイルス感染症の影響のある市内事業者へ支援を適宜実施していく必要があります。
- 特産品ブランドについては、近年の購買活動の変化など、消費者ニーズも多様化していることから、認証品としての競争力強化に努める必要があります。
- 企業支援コーディネーター及び「いい那珂オフィス」を活用し、創業や事業承継など、市内事業者への支援を行っていく必要があります。
- 複合型交流拠点施設「道の駅」については、持続可能な運営体制を構築していく必要があります。
- 那珂西部工業団地や向山工業専用地域を中心に新たな企業の誘致活動を行い、市内における雇用の促進を図る必要があります。
- 菅谷寄居地区の工業地域に、商工業の発展につながる企業の進出を推進していく必要があります。
- 地元の企業や大学などと産学官連携を進め、就職支援を行う体制を構築していく必要があります。

商業（商品販売額 / 従業員数）



工業（製造品出荷額 / 従業員数）



産業祭

施策の目的と成果指標

対象 市民、商工業事業所

意図 健全な経営がなされる、雇用の場が確保される

成果指標	現状値	中間目標値 (令和7年)	目標値 (令和9年)
商品販売額	756億円 (平成28年)	756億円	756億円
従業員数(商業)	2,930人 (平成28年)	2,930人	2,930人
製造品出荷額	626億円 (令和3年)	690億円	722億円
従業員数(工業)	2,502人 (令和3年)	2,654人	2,730人

基本事業と方針、主な現事務事業

基本事業1 商業の振興

方針

- 新型コロナウイルス感染症の影響のある事業者に対し、適宜支援に努めます。
- 市特産品ブランド認証制度を推進するため、認証品のPRや新たな販路確保に努めます。
- 市商工会と連携して、経営指導や融資制度の充実を図るとともに、人材育成に努めます。
- 「いい那珂オフィス」を拠点とし、創業支援や移住相談など「企業」と「ひと」、「地域」が様々な結びつきを生み出す場を提供することで、市内商業全体の活性化を図ります。
- 意欲的な商業団体などの取組を支援することで、まちなかの賑わい創出に努めます。
- 賑わいの創出や交流人口*を増やすため、商業施設や宿泊施設などの新規立地を促進します。
- 複合型交流拠点施設「道の駅」の整備を推進します。

主な現事務事業

- ・ 商工業者緊急応援事業
- ・ 中小企業振興対策事業
- **那珂ビジョン(育成)**
- ・ いい那珂オフィス創業支援事業
- **那珂ビジョン(支援)**
- ・ がんばる商店街支援事業
- **那珂ビジョン(投資)**
- ・ 特産品ブランド化推進事業
- ・ 複合型交流拠点施設「道の駅」推進事業

基本事業2 | 工業の振興

方針

- 新型コロナウイルス感染症の影響のある事業者に対し、適宜支援に努めます。
- 経営の安定化や後継者不足に対応するため、市商工会や企業支援コーディネーター*と連携して、経営指導や融資制度の充実、人材育成に努めます。
- 茨城港（日立港区及び常陸那珂港区）に近接し、常磐自動車道那珂インターチェンジを有する地理的優位性や、ガスパイプラインが横断しガス供給資源が活用できるという利便性を活かすとともに、固定資産税の優遇制度などを活用して、那珂西部工業団地や向山工業専用地域などへの企業誘致を積極的に推進します。

主な現事務事業

- ・商工業者緊急応援事業
- ・中小企業振興対策事業
- 那珂ビジョン(育成)
- ・いい那珂オフィス創業支援事業
- 那珂ビジョン(投資)
- ・企業立地促進事業

基本事業3 | 雇用対策の促進

方針

- 就業の機会を増やすため、いばらき県央地域連携中枢都市圏*の構成市町村と合同での就職説明会の開催、ハローワークなど関係機関と連携した就職情報の提供や相談窓口の運営及び子育て中の女性を対象にしたセミナーを開催します。
- 企業支援コーディネーターの配置により、既存事業所や起業者及び創業者への支援を行うことで、地場産業の競争力を強化し、雇用の創出につなげます。

主な現事務事業

- ・商工総務事務費
- 那珂ビジョン(育成)
- ・いい那珂オフィス創業支援事業



複合型交流拠点施設「道の駅」候補地

施策
3地域資源を活かした
観光の振興を図る

前期基本計画の取組

- 那珂総合公園では、市の花であるひまわりをシンボルとした「なかひまわりフェスティバル*」を、日本さくら名所100選に選ばれている静峰ふるさと公園では、「八重桜まつり*」などのイベントを開催し、観光の振興を図りました。
- 観光PRを行い、市の認知度向上に努めました。
- 地域に根差した伝統的な祭りに対して、継続性を見据えた支援を行いました。
- 静峰ふるさと公園の魅力向上を図るため、バーベキュー施設などの整備を行いました。
- 静峰ふるさと公園では、桜の更新作業を行うとともに、地域おこし協力隊*主催によるイベントの開催や、イルミネーションを実施するなど、年間を通した魅力向上を図りました。
- 一の関ため池親水公園にある曲がり屋と月の風景が評価され、「日本百名月」に認定されました。
- 令和2年度に、市自転車活用推進計画を策定し、自転車の活用を推進しました。
- 令和2年度からフィルムコミッション*活動を強化し32か所登録しました。
- 令和3年度に茨城県フィルムコミッション等協議会へ加入し、市内ロケーション撮影地候補を5か所追加、4件を誘致しました。

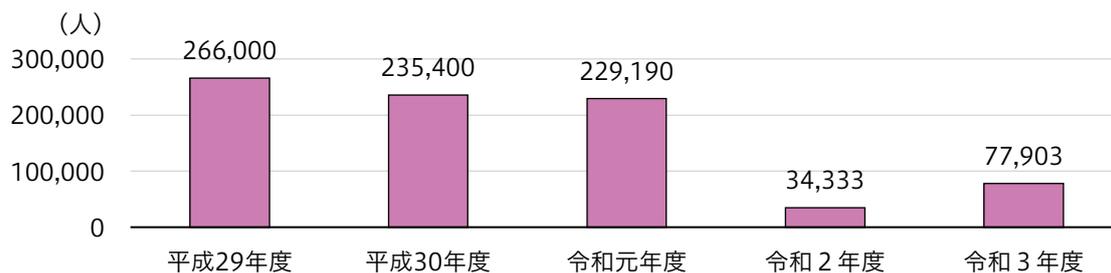
現状

- 静峰ふるさと公園や清水洞の上公園、一の関ため池親水公園など、観光資源としての利活用を図っています。
- 観光イベントなどの実施を通し、市内への交流人口*の拡大を目指すとともに、地域の活性化を図っています。
- 気軽に安心して自転車を利用してもらうために、サイクルサポートステーション*協力店の登録や地域資源を活かしたサイクリングイベントを開催しています。
- より広い対象者へ観光情報を周知するため、ホームページやSNS*など様々な媒体で発信しています。

課題

- いばらき県央地域連携中枢都市圏*の構成市町村が連携し、広域的な観光ツアーを造成、実施するなど、効果的に誘客を図る必要があります。
- 静峰ふるさと公園は、魅力向上事業によるソフト事業の展開、施設の追加的整備、民間活力や地域おこし協力隊の活用などにより、通年型で多世代での集客力向上に取り組む必要があります。
- サイクルツーリズム*による地域の活性化を図るため、継続的なサイクリングイベントの開催や情報発信を行う必要があります。
- 観光情報の発信においては、ターゲットを明確にして、ホームページやSNSなどを活用し、より広い対象者へ周知していく必要があります。
- より市の魅力を伝えられるロケーション撮影地候補を選定し、充実させていく必要があります。

観光入込客数



施策の目的と成果指標

対象 市民、観光客

意図 市への来訪者を増やし、観光振興を図る

成果指標

成果指標	現状値 (令和3年度)	中間目標値 (令和7年度)	目標値 (令和9年度)
観光入込客数	77,903人	330,000人	330,000人

基本事業と方針、主な現事務事業

基本事業1 観光イベントによる地域活性化

方針

- 交流人口*の拡大による地域の活性化を図るため、「なかひまわりフェスティバル*」及び「八重桜まつり*」を開催します。
- 市民や団体などが主体となって開催するイベントを支援します。
- 地域に根差した伝統的な祭りを支援します。
- サイクリストにとって、居心地が良い環境づくりを進めるとともに、サイクリングイベントを通して交流人口の創出を図ります。

主な現事務事業

- ・なかひまわりフェスティバル事業
- ・八重桜まつり事業
- **那珂ビジョン(投資)**
- ・いい那珂サイクルプロジェクト推進事業



静峰ふるさと公園



八重桜まつり

基本事業2 観光資源の発掘と活用

方針

- 市民と共に魅力的な観光資源を創造し、交流人口の拡大を図ります。
- 既存の観光資源である静峰ふるさと公園に、多世代が集える拠点として公園の魅力向上を図ります。
- 既存の地域資源を新たな視点で見直すことで、更なる観光資源の利活用を図ります。
- いばらき県央地域連携中枢都市圏*の構成市町村と連携し、地域の魅力を市内外に発信する観光PR事業を展開するとともに、地域の観光資源をめぐる周遊イベントを開催するなど、広域観光を推進します。

主な現事務事業

- ・ 静峰ふるさと公園魅力向上事業
- ・ 各観光施設管理事業
- 那珂ビジョン(支援)
- ・ 清水洞の上整備事業

基本事業3 観光情報の発信

方針

- 市内の観光情報を収集し、観光パンフレットや市観光協会ホームページで紹介するほか、「いい那珂暮らし応援団*」と連携して、SNS*で情報発信するなど、観光情報の発信力強化を図ります。
- いばらきフィルムコミッション*と連携して市内ロケーション撮影地候補を増やし、映画、ドラマやミュージックビデオなどのロケーション撮影を誘致し、作品を通して市を発信します。

主な現事務事業

- ・ 観光事務
- ・ 団体補助事業(市観光協会)



ひまわりフェスティバル



サイクリングイベント



清水洞の上公園